

ふくサポだより

福島県ため池サポートセンター vol.10_R5.11.30

ため池管理者等に対する 点検・管理に係る研修会の開催

福島県ため池サポートセンターでは十月三日に、会津管内のため池管理に携わる地元の方・土地改良区・市町村・県職員三十名を対象に、新溜池（会津美里町）において「ため池管理者等に対する点検・管理に係る研修会」を開催しました。（画像1）



（画像1）

研修会を行った新溜池では、ため池の水を全て抜く「かいぼり」を実施しました。（画像2）

かいぼりを実施することで、普段は水が溜まっていて中々見ることが出来ないため池底部の点検が可能になります。また、天日に干すことで水質の向上にも繋がると言われています。

ため池の点検は春先の水が溜まっている時期に行うことが多いかと思いますが、かいぼりを実施している時にも積極的に確認しましょう。



（画像2）



（画像3）



（画像4）

水を抜いたおかげで底樋流入側になんか近づくことができ、土砂吐ゲートの開閉に支障はないか、斜樋や底樋に変状はないかなどの点検をすることができました。（画像3、画像4）

現地研修会時で、ため池サポートセンターに寄せられた質問について紹介します。

Q ため池堤体に樹木が生えているが、ため池に悪影響はないか？

A 木の根が腐った場合、根があった箇所が空洞となることから漏水の原因となってしまうことがあります。したがって堤体に樹木は植えないようにしましょう。しかし、既に生えてしまっている場合は、伐採してしまうと根が腐ってしまうため、無理な伐採はせず、漏水が発生していないか点検時に注視しましょう。

豆知識になりますが、昔は桜の木を植えて皆で花見をすることで締め固めていたとも言われていたようです。(画像5)



(画像5)

ため池点検時のポイントをご紹介させていただきます。

今回のポイント 堤体の植生について

湿地を好むフキやシダの植生は、堤体の漏水や変状箇所を探す一つの判断材料となります。もし堤体の高い位置にこれらの植生を見つけた場合は注意が必要です。

また、外来種のセイタカアワダチソウ(キク科)が植生すると球状の根を形成し、翌春開花後に根がしぼみ、その空洞が堤体の変形・パイピングの要因となる場合があります。

見つけた場合は積極的に除去しましょう。

(画像6)



(画像6)

☎ 0 2 4 - 5 3 5 - 0 3 8 3

ため池管理者の方の相談窓口

受付日時

平日 9:00~16:00

※ 祝日、休日、年末年始を除く

農業用ため池管理者からの、ため池に関するご相談やお悩み等をお受けし、福島県の各農林事務所又は各市町村の担当部署へ対応の調整を致します。

福島県ため池サポートセンター

所在地 福島県福島市南中央三丁目36番地 (福島県土地改良会館内)

TEL 024-535-0383

FAX 024-535-0358

E-mail: tameike-support@midorinet-fukushima.jp

ホームページ: https://www.midorinet-fukushima.jp/

